

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう

なまえ _____

小3/1まいめ 「だから」「でも」のあとにつづく文を考えよう

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく文をア〜ウからえらんで、記号を書きましょう。

「だから」のあとは前からそうなること、「でも」のあとは前から思うのと反対のこと。

ア〜ウのうち1つは、どちらにもつづきません。

1 きょうは朝からとてもあたたかい日です。

ア あついコートを 着て 出かけました。

イ 姉はきのう新しいぼうしを 買いました。

ウ 半そでの シャツで 出かけました。

(1) だから、

(2) でも、

2 ぼくはいつもよりおそく家を出ました。

ア 目ざましどけいが こわれて いました。

イ 学校には 一ばんに つきました。

ウ 学校には ちこくして しまいました。

(1) でも、

(2) だから、

3 かぜがすっかりなおりました。

ア サッカーの練習に 行けました。

イ サッカーの練習には 行きませんでした。

ウ きのは早く ねて 体を 休めました。

(1) だから、

(2) でも、

4 妹は虫が とても にがてです。

ア チョウだけは 手に のせて あそびます。

イ 小さいころ ハチに さされた ことがあります。

ウ にわの 虫には 近づきません。

(1) でも、

(2) だから、



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

なまえ _____

小3/1まいめ 「だから」「でも」のあとにつづく文を考えよう

ひづけ _____

赤い記号がこたえです。下の行は、つかわない文とそのわけです。
1文目より前にあったことを言う文は、「だから」のあとには来ません。

1 きょうは朝からとてもあたたかい日です。

ア あついコートを着て出かけました。

イ 姉はきのう新しいぼうしを買いました。

ウ 半そでのシャツで出かけました。

(1) だから、

ウ

(2) でも、

ア

つかわない文：イ（そうなる話でも反対の話でもない）

2 ぼくはいつもよりおそく家を出ました。

ア 目ざましどけいがこわれていました。

イ 学校には一ばんにつきました。

ウ 学校にはちこくしてしまいました。

(1) でも、

イ

(2) だから、

ウ

つかわない文：ア（1文目の理由）

3 かぜがすっかりなおりました。

ア サッカーの練習に行けました。

イ サッカーの練習には行きませんでした。

ウ きのは早くねて体を休めました。

(1) だから、

ア

(2) でも、

イ

つかわない文：ウ（1文目の理由）

4 妹は虫がとてにがてです。

ア チョウだけは手にのせてあそびます。

イ 小さいころハチにさされたことがあります。

ウ にわの虫には近づきません。

(1) でも、

ア

(2) だから、

ウ

つかわない文：イ（1文目の理由）